

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社ビーイングホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9145 URL <https://being-group.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）喜多 甚一
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役 （氏名）松木 正康 TEL 076-268-1110
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	7,551	8.9	545	63.8	570	71.3	329	87.5
2024年12月期第1四半期	6,933	19.4	332	16.7	332	13.6	175	9.4

（注）包括利益 2025年12月期第1四半期 377百万円（83.9％） 2024年12月期第1四半期 205百万円（12.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	54.68	—
2024年12月期第1四半期	29.46	29.17

（注）当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第1四半期	19,036	7,560	37.6
2024年12月期	18,222	7,498	38.9

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 7,171百万円 2024年12月期 7,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		18.00	—	30.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	15,500	7.2	1,050	14.3	1,000	8.5	550	0.5	91.28
通期	33,300	10.3	2,500	11.4	2,500	10.7	1,500	9.1	248.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	6,025,000株	2024年12月期	6,025,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	185株	2024年12月期	151株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	6,024,836株	2024年12月期 1 Q	5,962,376株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済状況としては、雇用や所得環境の改善による個人消費の回復やインバウンド需要の増加により、景気は緩やかに回復しているものの、資源エネルギー価格の高騰による物価上昇や各国の経済政策の影響による不安定な為替相場など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

物流業界においては、物流の2024年問題による時間外労働の規制や人口減少による人手不足の影響から物流業者の倒産は過去最多となっており、物流業界のM&AやTOBなどによる物流再編の動きが活発化しております。また、資源エネルギーの高騰、賃金ベースアップ、時間外労働時間の規制による外部委託費用の値上げなどの影響によって物流コストが上昇していることに加え、ドライバー不足や労働時間規制により、従来の運用のままでは配送出来ない事態が訪れることが懸念されております。

このような社会情勢の下、当社グループは、クリーンエネルギーへの転換、従業員の賃金の見直し、2024年問題に係るドライバーの時間外労働時間の改善を図るとともに、「生活物資に特化した物流への経営資源の集中投資」「関東から全国への展開を見据えた物流基盤の構築」「量の拡大と質の変革による長期成長イメージ」の3つを成長戦略とし、業務に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、自社保有の物流センターへの太陽光パネルの設置やCO₂を排出せずに発電された電力の調達を行い、再生可能エネルギーの活用を進めております。また、自社開発システム「Jobs」でこれまで蓄積した物流センターにおける物流情報とAIによる物量予測を活用し、既存センターの業務の見直し及び適正人員の配置を進めております。

前年稼働拠点や既存拠点で獲得した新規業務は安定稼働しており、既存業務と併せて堅調に事業を拡大しております。3月には「野田センター」、「金沢鞍月センター」を新規稼働させております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、営業収益7,551百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益545百万円（前年同期比63.8%増）、経常利益570百万円（前年同期比71.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益329百万円（前年同期比87.5%増）となりました。

なお、当社グループは「物流事業」を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ596百万円増加いたしました。これは主に営業未収入金が380百万円減少した一方で、現金及び預金が923百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が354百万円及びリース資産が27百万円減少した一方で、建物及び構築物が550百万円及び機械装置及び運搬具が51百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ813百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ711百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が200百万円及び1年内返済予定の長期借入金が188百万円増加した一方で、営業未払金が469百万円、未払費用が197百万円、未払法人税等が315百万円及びその他流動負債が111百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,462百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,492百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、11,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ751百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,560百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が64百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は37.6%（前連結会計年度末は38.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日の「2024年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、現在の連結業績予想は、本四半期決算短信提出日時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、連結業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,951	5,874
営業未収入金	3,558	3,178
その他	187	238
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	8,676	9,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,701	5,252
機械装置及び運搬具（純額）	405	456
土地	2,651	2,651
リース資産（純額）	743	716
建設仮勘定	379	24
その他（純額）	17	17
有形固定資産合計	8,898	9,118
無形固定資産	21	18
投資その他の資産	626	625
固定資産合計	9,546	9,762
資産合計	18,222	19,036

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,922	1,453
短期借入金	1,000	1,200
1年内返済予定の長期借入金	664	853
リース債務	274	269
未払費用	1,085	888
未払法人税等	506	191
その他	1,012	901
流動負債合計	6,467	5,756
固定負債		
長期借入金	3,443	4,935
リース債務	559	525
退職給付に係る負債	84	86
その他	169	171
固定負債合計	4,256	5,719
負債合計	10,724	11,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	696	696
資本剰余金	648	648
利益剰余金	5,727	5,791
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,071	7,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	35
その他の包括利益累計額合計	31	35
非支配株主持分	395	388
純資産合計	7,498	7,560
負債純資産合計	18,222	19,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業収益	6,933	7,551
営業原価	6,240	6,650
営業総利益	692	900
販売費及び一般管理費	359	355
営業利益	332	545
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	2
受取保険金	2	26
助成金収入	11	5
その他	2	4
営業外収益合計	17	38
営業外費用		
支払利息	7	12
シンジケートローン手数料	8	0
その他	1	0
営業外費用合計	17	13
経常利益	332	570
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	0	11
特別損失合計	0	11
税金等調整前四半期純利益	334	560
法人税等	130	186
四半期純利益	203	373
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	175	329

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	203	373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	4
その他の包括利益合計	1	4
四半期包括利益	205	377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	333
非支配株主に係る四半期包括利益	28	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	173百万円	174百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

当社グループは「物流事業」及び「その他」の事業を営んでおりますが、「その他」の各事業のセグメントの営業収益、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満であり、報告セグメントが1つであるため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

当社グループは「物流事業」及び「その他」の事業を営んでおりますが、「その他」の各事業のセグメントの営業収益、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満であり、報告セグメントが1つであるため記載を省略しております。